

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
仙台市上飯田たんぼぼホーム		2026年3月19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員に対してのスペースは基準を満たしている。	行事、運動感覚遊び等では、一定のスペースを確保し危険のないよう遊具の設置をしていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員数は定員を満たしている。	一時預かり、兄弟児の対応についてもできる限り対応してきた。今後も保護者が安心して療育に専念できる体制づくりをしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動ごとに場所を分ける、全体の流れや作業の手順、活動の開始や終了を視覚化する等発達段階に応じて分かりやすく環境設定し、保護者と共有している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		空気清浄機の設置、換気を行い、鼻水などをふいたティッシュはビニールに入れる等感染対策を行った。清掃・玩具の消毒を毎日行い清潔な環境づくりを行った。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンの際には和室や廊下、相談室の利用も可能である。状況に応じて園庭も使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		クラス全員の職員が支援会議に参加し、各児の目標と支援内容を共有している。また個別支援計画に沿って活動内容を振り返り反省をしている。	どの職員も各児の発達の状況の見立てができるよう研鑽に努めたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果を掲示している。アンケート結果をもとに職員で話し合い、改善点について話しあっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日ごろから打ち合わせ、反省を密に行っている。職員の面談の機会を設ける他、日頃から職員と話す機会を持ち意見交換できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		監査などで伝えられた改善点は全体周知し、業務改善点は共有し早々に対応するよう努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		階層別の研修、全体研修、職種別研修等その都度必要な研修を計画し、設定している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別支援計画を作成するにあたりモニタリングシート、アセスメントシート等のツールを利用し子どもの状態の整理をしている。こども、保護者のニーズや意向をくみ取り作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個々の特性や成長の具合を把握し、職員間で話し合いをしながらアセスメントを行い支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の内容を日々の反省などで随時確認し、クラス会議等でそれに沿った指導内容を考え実施してきた。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援計画作成に伴うアセスメントの実施の他、希望者には発達検査を実施し発達段階を共有してきた。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目ごとに立案できている。子供たちが取り組みやすい具体的な計画を支援会議の中で設定し保護者にも目標やねらいを共有している。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	園の年間指導計画に沿い、クラス会議ではクラスリーダーがメインとなりながら話し合いを行い、クラス担任全体で活動計画を考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	ルーティン活動はあえて固定化し、その他は、子どもに応じて興味・関心が持てるようなプログラム・季節に合わせた行事などを毎回工夫して実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団活動だけでなく個々に合わせた個別のプログラムを提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	児の予想される動きや職員の対応など毎朝共有している。活動中に想定外の事が起きた時も情報共有するよう努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	活動終了後に毎日全体の反省で他クラスの状況も把握している。クラスの反省ではより丁寧に利用者の様子を共有しより良い対応について確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の記録を取り、支援計画作成時には記入内容を振り返り支援のモニタリングに活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	クラス担任全員で支援計画モニタリングの話し合いを行いより子どもの様子に合った支援計画の作成を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	クラス担任・園長等が会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	医療機関からの情報を保護者から聞き取ったり保護者からの希望に応じ発達検査の結果を関係機関に伝えるなどしてきた。また、区の家健康課保健師と連携をとり、母子保健からの引継ぎ・情報交換の機会も大事にしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保育所交流行事の設定をする他、児童発達支援事業所の併行利用の場合は子どもの様子を見学したり情報共有を行った。移行支援については引継ぎシートを利用し行い、卒園後の訪問も行った。幼稚園、保育所の先生向けの研修を実施した。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	該当者なし	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	他センターと定期的に会議で情報共有する他、地域相談員が中心となりブロックごとに協働して地域の子育て支援プログラムを実施している。	児童発達支援事業所とは見学を通して情報共有をし、個別支援計画についても共有をしていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	外部講師からスーパーバイズを受けケース検討等を行っている。また、法人や各園で設定している研修の他に積極的に外部研修の受講を推奨している。	外部研修の参加については更に積極的な参加を勧めたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	地域相談員・園長が地域の子育て会議に参加している。	今後自立支援協議会への参加を予定している。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域の保育所二か所と交流の機会を作っている。	地域支援・地域連携の所では、近隣の保育所との交流日を作っているが一回に行ける人数が限られたこと、入園時期が遅いお子さんは経験できないことがあった。今後、実施の仕方を検討する。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々のミーティング、保護者との日々の会話等でやり取りしている。また、支援計画のモニタリングの際にも子どもの様子を共有できている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	15回以上の体系化された保護者勉強会を基に保護者に必要な情報を提供している。(ペアレントトレーニング含める)	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	入園時に説明会にて説明し、また廊下に掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	初回相談時、モニタリングなどで本人の意向、保護者の意向の聞き取りを行い、個別支援計画に反映させている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	面談日に保護者に説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	要望にはできるだけ迅速に対応している。また、保護者の様子を気にかけて意識的に声をかけ連絡ノートを活用し思いをくみ取り必要に応じて個別面談の時間を取っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	クラスの定期的な保護者交流会を実施する他、毎回のコーヒータイトムでは気軽に交流・情報交換できる時間を確保してきた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	要望にはできるだけ迅速に対応している。また保護者の様子を気にかけて意識的に声をかけ連絡ノートを活用し思いをくみ取り必要に応じて個別面談の時間を取っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	法人のホームページなどには写真などの記載は個人情報の観点から行っていないが、活動内容や行事予定等おたよりを配布し丁寧に説明してきた。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報にかかわる物は施錠できるところに保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子どもの発達段階に応じた声掛けや教材の提示をし、保護者と共有してきた。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民を招待することに関しては個人情報保護の観点から行っていない。地域相談員が中心となり地域の園訪問や相談対応を実施している。	地域の園とは今後も交流行事を続け回数を担保していきたい。合同の研修や見学会等も続けていき職員間での連携を取ってきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルの確認を定期で行う他に、保護者が見られるように掲示し、月に一回避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	各マニュアルの確認を定期で行う他に、保護者が見られるように掲示し、職員による訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	入園前に健康管理カードに記入してもらい、職員が把握している。また、服薬の変更などがある時は保護者から情報を提供してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	入園前に健康管理カードに記入してもらい、職員が把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	各マニュアルの確認を定期で行う他に、保護者が見られるように掲示し、職員による訓練を実施している。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	入園時の説明や、安全計画の説明・掲示などを行い、保護者と共有してきた。		

心	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについては改善策を含め全体で共有している。また、全体反省で必ず確認している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年度初めに職員全体で虐待防止についての研修を行う他年度内に虐待防止についての研修を行っている。また虐待防止委員会も頻回に実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化・虐待防止委員会の概要については、保護者に閲覧できるようにファイルに収めている。また、個別支援計画に記載している。やむを得ず身体拘束を行う条件などについて個別支援計画に記載している。